建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する岐阜県計画（素案）（概要版）

現状と課題

- ・建設現場での災害により、近年では県内で年間約8名もの尊い命が亡くなっていることを重く受け止め、災害撲滅に向けて一層の実効性のある取組を推進する必要がある。
- ・一人親方等は、建設工事の現場では、他の関係請負人の労働者と同じような作業に従事しており、その安全及び健康の確保について特段の対応が必要である。
- ・建設工事従事者の高齢化が進行している中、中長期的な担い手の確保を進めていくことが急務である。

第1 基本的な方針

1. 適正な請負代金の額、工期等の設定
2. 設計、施工等の各段階における措置
3. 安全及び健康に関する意識の向上
4. 建設工事従事者の処遇の改善及び地位の向上

第2 岐阜県が総合的かつ計画的に講ずべき施策

1. 建設工事の請負契約における経費の適切かつ明確な積算等
 - (1) 安全及び健康の確保に関する経費の適切かつ明確な積算等
 - ・安全衛生経費については、国において検討されている安全衛生経費の実態調査を踏まえた施策に従い、安全衛生経費について適切かつ明確な積算がなされ、下請負人まで確実に支払われるよう必要な施策を実施する。
 - (2) 安全及び健康に配慮した工期の設定
 - ・休日等の日数を確保するなど適切な工期を定める等の環境を整備するほか、施工時期を平準化する等、計画的な発注を実施する。
2. 責任体制の明確化
3. 建設工事の現場における措置の統一的な実施
 - (1) 建設業者間の連携の促進
 - (2) 一人親方等の安全及び健康の確保
 - ・国による一人親方等の災害の分析等を収集し、発注者、建設業者

のみならず関係団体と連携し一人親方等も対象とした研修で活用する。

- (3) 特別加入制度への加入促進等の徹底
 - ・現場で労働者としての実態がある者については、特別加入するよう関係団体と連携し建設業者及び一人親方等を対象とした研修等で周知・指導するほか、元請負人を通じて特別加入制度への積極的な加入を促す。
4. 建設工事の現場の安全性の点検等
 - (1) 建設業者等による自主的な取組みの促進
 - (2) 工法や資機材等の普及の促進
 - ・生産性向上にも配慮した安全な工法等の普及を推進するとともに、建設業者、設計業者、発注者からなる三者会議を開催し、施工の安全性に配慮した設計に向け情報交換する。
5. 安全及び健康に関する意識の啓発
 - (1) 安全衛生教育の促進
 - (2) 安全及び健康に関する意識の啓発に係る自主的な取組みの促進

第3 総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 建設工事従事者の処遇改善及び地位の向上を図るための施策
 - (1) 社会保険等の加入の徹底
 - ・法定福利費を内訳明示した見積書による下請け契約を促す。
 - ・社会保険等の加入について、「岐阜県建設業社会保険加入推進地域会議」を通じて周知徹底する。
 - (2) 建設キャリアアップシステムの活用推進
 - (3) 「働き方改革」の推進
 - ・適正な工期設定、週休二日の推進等の休日の確保、適切な賃金水準の確保等、建設業における働き方改革を進める。
2. 墜落・転落災害の防止対策の充実強化
 - (1) 労働安全衛生法令の遵守徹底等
 - ・労働安全衛生規則に基づく措置の遵守徹底を図る。

・厚生労働省の関係要綱に示されている「より安全な措置」等の普及に向け、関係団体と連携し建設業者や一人親方等に対して研修会等で周知・啓発する。

- (2) 墜落・転落災害防止対策の充実強化
 - ・墜落・転落災害防止対策の充実強化に向けた国の調査・検討に関する情報を収集し、関係団体と連携して発注者や建設業者、一人親方等を対象とした研修等で活用する。
3. 計画の推進体制
 - (1) 関係者における連携、協力体制の強化
 - (2) 調査・情報発信の充実
4. 施策の推進状況の点検と計画の見直し
 - ・国の基本計画の変更や関係施策等の状況を踏まえ、必要に応じて、速やかにこれを変更する。